

2010年9月2日

トピー工業株式会社

豊橋製造所 大形圧延工場加熱炉の燃料転換

— LNG化により環境負荷を低減、CO₂を年間約13,500トン削減 —

トピー工業株式会社（本社：東京都品川区、社長：清水良朗、以下「トピー工業」）は、鉄鋼事業において、豊橋製造所（愛知県豊橋市）大形圧延工場の加熱炉の燃料を重油からLNG（液化天然ガス）に転換し、この7月から運用を開始いたしました。これにより大形圧延工場・加熱炉の二酸化炭素の排出量は年間約13,500トン削減されます。

大形圧延工場の加熱炉は、これまで主に重油を燃料として鋼片の加熱を行ってまいりました。しかし、重油は硫黄分を多く含み、燃焼による硫黄酸化物や煤塵の排出が環境面への著しい負荷となることから、大気汚染物質を含まず、二酸化炭素排出量の少ないLNGへの燃料転換を決定いたしました。今回の燃料転換に当たり、豊橋製造所周辺には大口取引が可能な都市ガスパイプラインが整備されていないため、LNGサテライトにより供給



写真：LNGサテライト

を行います。このLNGサテライトは、既存ガス導管からの延伸が困難な地域に天然ガスを供給するためのガス製造所で、サテライトまではLNGをタンクローリーで輸送し、現地で貯蔵されたLNGを気化して導管により供給します。また、加熱炉も燃料転換に伴い、気体燃料用燃焼バーナーの交換工事と計装工事を実施いたしました。

今回の燃料転換により、大形圧延工場の加熱炉が排出する二酸化炭素は年間約13,500トン削減されます。これは、100万本の杉の木が吸収する二酸化炭素の量に相当します。また、燃焼時の空気過剰率を改善することで、窒素酸化物排出量の低減と低燃費化を実現しております。

当社は今後も事業活動における環境負荷を低減するとともに、地球温暖化対策に積極的に取り組み、環境保全型社会の構築に貢献していきます。

以 上

【お問い合わせ先】 総務部 広報担当 TEL.03-3493-0777

<ご 参 考>

【豊橋製造所大形圧延工場 加熱炉燃料転換工事の概要】

設 備 概 要 : LNG サテライト設置 (600kl 貯蔵タンク、気化設備)、加熱炉バーナー更新
工事、ガス配管工事、計装機器設置、重油タンク撤去など

設備投資額 : 約 8 億円

着 工 時 期 : 2008 年 10 月

稼 働 開 始 : 2010 年 7 月

【杉の木換算に関する注記】

50 年生の杉 1 本が二酸化炭素を年平均約 14kg 吸収するものとして計算。

(「地球温暖化防止のための緑の吸収源対策」環境省、林野庁資料より)

$$13,500,000\text{kg} \div 14\text{kg/本} \cdot \text{年} = 964,286 \text{ 本}$$

【トピー工業株式会社の概要】

会 社 名 : トピー工業株式会社

所 在 地 : 東京都品川区大崎 1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー

創 立 : 1921(大正 10)年 10 月

資 本 金 : 20,983 百万円

代 表 者 : 取締役社長 清水 良朗

事 業 内 容 : 自動車用ホイール、建設機械足回り部品、鋼材他の製造・販売 など

連結売上高 : 196,848 百万円 (2009 年度実績)